

	<p>第298号 2014年 2月 1日 発行 富山市内幸町3-22菅谷ビル4階 新日本スポーツ連盟 富山県連盟 電話 & FAX 076-441-0541 発行者 荒井英治</p>
--	---

北信ブロックスキーフェスティバルに78名が参加



「北信ブロックスキーフェスティバル in 志賀高原」も12回目をむかえ、1月18日（土）～19日（日）の二日間高天原の『サニー志賀』宿泊で開催され、北信ブロック四県から78名が参加しました。（福井・8名、石川・35名、富山・31名、長野・4名、）例年どおり石川県は「県スキー祭り」として、17日（金）～二泊三日の日程でした。

フェスティバル第一日目は、快晴無風の好条件で参加者がホテル前で開会式に参加、終了後それぞれグループを作り純白のグレンデに飛び出してゆきました。

例年、フェスティバルの一日目にスキー指導員の検定会を実施していますが、今シーズンは受験者がなくいつもは検定員を務める上級指導員の皆さんも参加者と一緒に滑ることができ、上級の皆さんにワンポイントアドバイスをしてもらいながら広い志賀高原のいろんなグレンデを思い切り堪能しました。滑り終えてホテルに帰り温泉で疲れをいやした後は楽しい夕食、その後の大広間での交流会は参加各県からの出し物がありアフタースキーも堪能しました。それでも足りない人は少々狭い事務局の部屋に集まり日付が変わるまで酒宴とスキー談議に花を咲かせました。翌日早朝、長野の知人から電話で「今日（19日）は県内に大雪警報が出ているから早く解散した方がいい」とアドバイスがあり、窓の外を見るとかなりの風雪、これでは例年日曜日の朝一番にやっている、25～26名のスキーヤーが平和をアピールしたパネルを掲げゆっくりと高天原グレンデを滑り降りるメイン行事を中止せざるを得なくなりました。朝食後はさらに風雪が激しくなりリフトもほとんど運転しない状況になったのですべての日程を取りやめて解散することにしました。

又、来シーズンのフェスティバルを期待しましょう。 記：富山県スキー協議会 長谷川 博

射水市櫛田神社初詣ウォーキングに10名参加

2014年の様々な願いを祈願し、美味しい和食をいただきました

富山ウォーキングクラブの1月例会は5日（日）に実施されました。

今年初めての快晴のウォーキング日和でした。

薬勝寺池公園駐車場を出発し、水戸田瓦の里の陶房「匠の里」、密蔵寺、小杉丸山遺跡を訪ね、11時頃串田地区の櫛田神社にお詣りしました。

ここで皆さんそれぞれの思いを祈願し、傍らの「大伴二三弥ステンドグラスミュージアム」を外からのガラス越しに鑑賞しました。

帰路は車での移動を予定していましたが、あまりにも天候が良いのに誘われ、全員が歩いて出発点まで歩き心地よい汗をかきました。

お昼は「わはく」での和食を堪能しました。

食後、昨年の初詣ウォーキングでお詣りできなかった戸破加茂神社へ。歩いた距離は約12Km、約21000歩、4時間のウォーキングでした。



記： 富山ウォーキングクラブ 林 憲彦



早春の常願寺の流れを見ながら走りませんか

第30回全国スポーツ祭典記念

第5回常願寺川マラソン・ジョギング大会のお知らせ

河川道路を走ります。初心者・初級者歓迎

2014年3月30日(日)

種目 5kmの部(男・女)：1往復

10kmの部(男・女)：2往復

両部とも午前9時30分同時スタート

*順位表彰はしません。各自掲示時計にて確認

参加費：中学生以上800円、

小学生以下500円(完走証・傷害保険・ドリンク・参加賞)



当日払い可



当日参加も受付ますが中学生以上1,000円とします

受付：午前8時30分～9時20分

常願寺川公園中央駐車場・公園事務所横にて

申込：3月26日まで(以降は当日扱)FAXまたは、お近くの連盟

員まで

主催：新日本スポーツ連盟 富山県連盟

富山市内幸町3-22管谷ビル TEL 076-441-0541

後援：常願寺川公園管理事務所 076-463-2034

主管：雷鳥ランニングクラブ FAXはこちら076-422-2852

事務局(富山市高屋敷547-20、青山光夫方)

問合せ 青山光夫へ 090-4683-9486



第5回常願寺川マラソン・ジョギング大会参加申込書

氏名		男 女	年齢	才(大会当日)
住所	〒		種目	km
連絡先電話			所属	

よろしければメールアドレスを_____

荒井英治

《低山歩き・里山歩きの楽しみ》

私の所属する三島野スポーツクラブの月例世話人会で「低山の山行を増やしていこう」としばしば話題になります。その背景には年齢による体力・持久力の低下で3000m級の名の知れた山はハード過ぎて敬遠され、クラブ山行から遠ざかる人が出てきている実態があります。

往復車中時間：4～6時間、歩行時間：6～8時間の山行ではどうしても未明の出発となり、山登り自体の体力消耗に加えて睡眠不足が疲労を倍加します。だったら近間の低山へということなのですが、残念ながら県内や隣県の低山を案内できる人がクラブ内にあまりいないのが実情です。そんな訳で低山の山行企画はなかなか増えません。ここはひとつ低山専門の山行リーダーを育成するようなプロジェクトが必要なのではと考えます。それと、高山とは違った低山の魅力と長所をアピールしていくことも必要です。長所の方は、体力的に楽チン、金銭的負担が少ないことですが、魅

★龍神伝説

話題は変わりますが、『龍神さま』を見たことがありますか。

去年の秋に見たのです、それもわがウツノ村の溜池で。龍神さまといっても別に大したことなく、水面から蒸発する水蒸気の渦の立ち昇りとその渦群の集合体による巨大化という単なる自然現象なのですが、これが注意して観察していると実に面白いのです。秋も深まり、地表からの放射冷却で早朝霜が降りるころが龍神さまの出現の時節です。(毎日飽きもせず同じコースを早朝散歩していると時々アレッと思うようなことに出くわして驚くことがあります、龍神さまとの出会いも其のひとつでした。)

『龍神の池』とか『龍神の・・・』といった地名や龍神伝説が日本全国(ひょっとして地球上のあちこちに、例えばフィンランドの神秘的な湖に)至るところにあります、昔のひとは無知迷妄で

力となるとどうもいまいち良くわからないというのが正直なところです。

低山の魅力って何？と我が胸に自問自答して返ってきた答えが『人の生活・営みの臭いとその痕跡が感じられる、それが面白い』ということでした。立山や白山や富士山に人間の日常の営みがあるはずもなく、そこは生活とは縁のない別空間です。ところが里山や低山となると、人がその地表に衣食住という生存に必須なものを得るために、その一所に命を懸けてきた、まさに字義どおりの『一所懸命』の場所だったわけで、今は朽ち果て潰れた家屋や、廃道となった山仕事道、荒れ果てた杉林や雑木林が語りかけるものに耳を澄ますといろいろな想いが湧いてきます。

これ以外にも、低山・里山の魅力はいろいろあるのかもしれませんが。富山ハイキングクラブは低山・里山歩きの行事を数多く実施されているようです。情報交換の機会をもちたいものです。

そんなものを信じていたのかと馬鹿にしていたのですが、馬鹿で無知だったのはワタクシの方でした。龍神を主題・テーマに悲しい母子の生き別れの物語や人間の傲慢な所業を懲らしめる民話や説話を伝え、楽しんできた人たちにリスペクトです。

龍神さまの実体を言葉で説明するのはもったいないので皆さんそれぞれ何処かの広い水溜りや農業用溜池かダム湖で五感を働かせて観てください。この龍神さま、寒さが増してくる冬場にはもっと大きくて濃い姿であられるものと期待していましたが、ある時からまったく途絶えてしまいました。今度現れるのは冬の終わりのころなのでしょうか。気温・水温・日光の微妙なバランスの条件下でおきるその仕組みを理科の知識で説明・納得できるのは、昔の人ではなくて今の人の特権です。